

長野県のツキノワグマ目撃及び人身被害の状況

令和8年8月21日 現在

長野県林務部 森林づくり推進課

●目撃情報と皆さまへのお願い

- ・県内各地とも、この1週間のクマの目撃件数は少ない状況が続いています。
- ・本来、夏のこの時期は、山の中のクマのエサが少なくなり、森林以外の場所に食物を求めて活動を広げる時期です。また、親から別れて独り立ちした若いクマが目撃される時期でもあるので、今後の目撃状況の変化にはご注意ください。
- ・例年の傾向でも、夏は人の生活圏における目撃が多い時期になります。クマに人の生活圏を餌場として認識させないためにも、廃棄野菜や家庭の生ゴミなどの適切な管理と処分をお願いします。
- ・夏休みが明け、学校が再開されます。山ぎわでは不意な遭遇の可能性もあるため、登下校の際はなるべく複数人での行動を促すなど、改めて児童生徒への注意喚起をお願いします。
- ・また山野に入る際や山ぎわで活動される際は、音の出るものを携行するなど基本的な対策を行い、引き続きクマとの遭遇に十分ご注意ください。

●人の生活圏でのツキノワグマの目撃件数の推移（速報値）

[illegible]

※人身被害は林内での発生も含む。

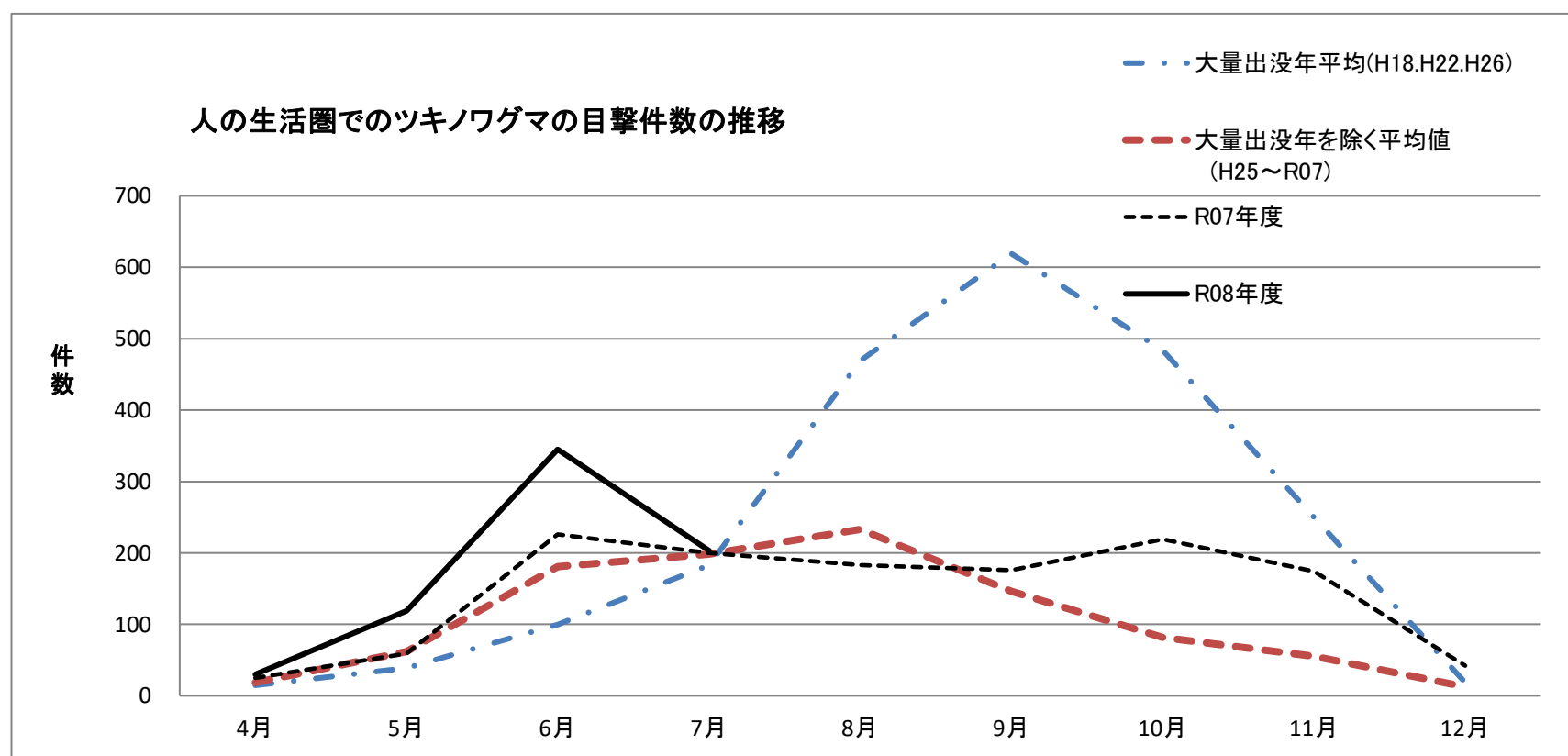
網掛けのセルは大量出沒年。

●地域別目撃件数

[illegible]

〔参考〕大量出没年、大量出没年以外の平均目撃件数との比較

凡例	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4-12月 累計	人身被害 件(人)
大量出没年平均 (H18. H22. H26)	15	39	100	183	469	619	483	250	18	2,176	20.3(21.3)
大量出没年を除く 平均値 (H25～R07)	19	62	181	198	233	146	82	55	13	989	8.7(9.6)
R07年度	25	59	226	200	183	176	219	174	42	1,304	11(16)
R08年度	30	119	345	203	57					754	1(1)



- ・平常年、山のエサが少なくなり農作物が収穫を迎える8月が目撃件数のピークとなっている。令和7年は6月に226件と急増し、その後も夏から秋にかけて高い水準で推移した。10月には再び増加が見られ、年間を通じて人の日常生活圏での目撃が多い状況が続いた。
- ・大量出没年では、8月から11月にかけて目撃件数が増加し、特に9月、10月が顕著に増加している。堅果類の豊凶の影響が推察される。